

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 ~6日	2月 ~13日	2月 ~20日	2月 ~27日	3月 ~6日	3月 ~13日	3月 ~20日	3月 ~27日	4月 ~3日	4月 ~10日	4月 ~17日	4月 ~24日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	12	4	10	8	11	7	12	13	17	19	18	14
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	14	5	7	15	11	12	3	11	9	23	16	14
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	1	0	1	1	1	1	3	2	1	2	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	3	1	4	4	6	6	8	5	1	8	7	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	2	6	1	1	3	4	2	0	5	2	3	9
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	0	1	3	3	0	1	1	0

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第16週(4月18日~4月24日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	0	結核	0							
三類	0	発生なし	0							
四類	2	日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	1				1			
五類	11	ウイルス性肝炎	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	8					7	1	
新型インフルエンザ 等感染症	6,498	新型コロナウイルス感染症	6,498	609	353	492	108	3,161	357	1,418

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第16週に3,161件の報告があり、多い状況が続いています。今週からゴールデンウィークが始まり、人の移動が活発になります。これまで年中行事などで人との接触が増加し、その後感染が拡大しています。一人一人が対策を徹底し、感染拡大を防止しましょう。

2 手足口病

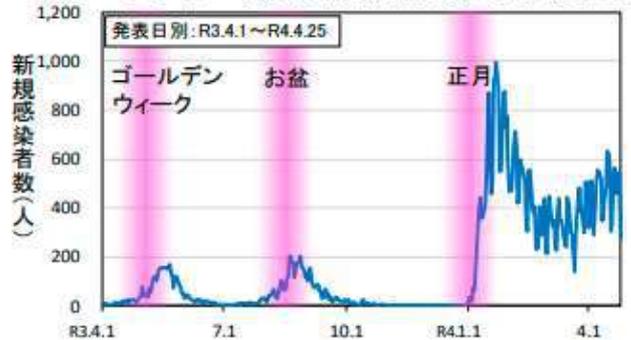
定点当たり1.38人の報告があり、増加傾向です。手足口病は、口の中の粘膜や手足に水疱性の発しんが出るウイルス性の感染症です。接触感染や飛沫感染などで感染し、乳幼児を中心に流行します。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

3 梅毒

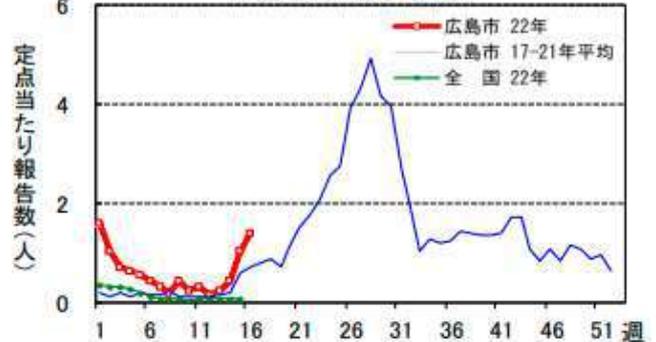
7件の報告があり、今年の累計は77件と非常に多い状況です。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあるため、早期発見・早期治療が大切です。

【参考】保健センターの無料・匿名の梅毒検査  
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



手足口病の流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	-	-	0.68			小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.06		
小児科	咽頭結膜熱	7	0.29	0.44			眼科	RSウイルス感染症	3	0.13	0.26		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	0.33	2.18				急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	感染性胃腸炎	114	4.75	7.75			流行性角結膜炎	-	-	0.90			
	水痘	3	0.13	0.19			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	33	1.38	0.70				無菌性髄膜炎	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.13				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09		
	突発性発しん	5	0.21	0.43				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
ヘルパンギーナ	1	0.04	0.13			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.69				

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	レジオネラ症	1	6	50歳代・市外
5	ウイルス性肝炎	1	1	50歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	4	70歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1	90歳代
5	梅毒	7	77	20歳代・2人、40歳代・3人、50歳代・2人